

「京都府子ども・子育て応援プラン(「京都府少子化対策基本計画」含む)」 中間案に対する意見募集結果

1 意見募集期間

令和元年12月19日(木)から令和2年1月9日(木)まで

2 意見募集の結果

	提出者数	提出案件数
個人・団体	13	30

3 御意見の要旨及びそれに対する京都府の考え方

項目	御意見の要旨	京都府の考え方
計画案全体	1 本プランについては、子育て環境の日本一を目指す京都府が本腰を入れて、少子化や子育ての状況を分析し、多面的に支援方略を検討したプランとして評価できる。実施に向けて期待する。	子育て環境日本一の実現のためには、行政、府民、地域、企業などあらゆる主体の総力を結集し、「子育て」の視点から新たな風土を築く必要があると考えており、この実現には、府民の皆様一人ひとりの参加・協力が不可欠であり、京都府全体で子育てしやすい社会をつくり上げていきたいと考えています。
子育てに対する意識や行動変容の促進	2 ワークライフバランスにおける支援や制度について、各企業へ広く周知するとともに、経済団体とのより一層の連携を図ってはどうか。	「子育て企業サポートチーム」の企業訪問により、「子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言」の取組を進め、時間単位の年休取得、不妊治療に係る休暇、短時間勤務等の柔軟な制度の導入など男女ともに働きやすい職場づくりを進めます。 また、経営者・男性社員などを対象に意識改革を目的とした合同研修会を開催するとともに、男性社員の育児休業取得促進やワーク・ライフ・バランスを考慮した人事評価制度導入の支援など、子育てにやさしい職場づくりを進めてまいります。
	3 0～2歳の保育料が高いので午前中だけでも無料にし、全ての子どもの入所を認めるくらいの思い切った政策が必要である。	子育てに係る経済的負担の軽減は重要であると考えており、これまでから多子世帯への保育料の無償化等に国に先駆けて取組むとともに、国に対して制度拡充を要望してまいりました。 引き続き0～2歳児の保育料無償化の早期実現について、国に要望するとともに、子育て世帯等のさらなる経済的負担の軽減に取り組んでまいります。
	4 子どもを持ちたいと感じ、子育てに憧れを抱くような世相をつくるのが重要であり、社会全体で子育てを応援する風土づくりが重要である。	行政、府民、地域、企業などあらゆる主体の総力を結集し、「子育て」の視点から新たな風土を築く必要があると考えており、この実現には、府民の皆様一人ひとりの参加・協力が不可欠であり、京都府全体で子育てしやすい社会をつくり上げていきたいと考えています。
	5 結婚後のサポート体制など、安心して結婚～出産～子育てができる事を分かりやすく紹介してはどうか。	きょうと子育てピアサポートセンターのポータルサイトやSNSの活用、各種セミナーやイベントを通じて、情報発信を行っているところですが、今後もさらに広く府民の皆様に知っていただけるよう、広報を充実していきたいと考えています。
	6 不妊治療など現行法に定めのないことでも労働者が働きながら取り組めるよう柔軟な対応ができる社会になってほしい。育児のメインは女性が行う実態があるように感じられるので、子育ては両親で行うものであるという意識や子育てを両親が行うことの具体的メリット(子の発育に影響がある等)を広く発信いただきたい。	働きながら安心して妊娠・子育てできる社会になることは重要であると考えており、「子育て企業サポートチーム」の企業訪問により、「子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言」の取組を進め、時間単位の年休取得、不妊治療に係る休暇、短時間勤務等の柔軟な制度の導入など女性にも男性にも働きやすい職場づくりを進めます。 また、経営者・男性社員などを対象に意識改革を目的とした合同研修会を開催するとともに、男性社員の育児休業取得促進やワーク・ライフ・バランスを考慮した人事評価制度導入の支援など、子育てにやさしい職場づくりを進めてまいります。

項目	御意見の要旨	京都府の考え方
出会い・結婚の環境づくり	7 ライフデザインを描くことができる機会の提供は、若者だけでなく婚活をしている方にも必要ではないか。	御意見を踏まえ、きょうと婚活応援センターの取組の中にライフデザインを考えるセミナーも取り入れるなど工夫していきたいと考えています。
	8 婚活マスターについては、旧態依然とした家制度の継承とならないよう活動内容について幅広い展開を望む。	婚活マスター等婚活を支援いただく方については、意欲があり、個人情報保護等の法令をしっかりと遵守していただくなど、婚活マスターとして適任と思われる方を登録しています。特定の価値観を押しつけるのではなく、結婚を希望する男女の出会い、交際をサポートする立場で活動していただいております。今後も研修などを通じ、最新の婚活事情を共有するなど、時勢にあった活動の支援等により、引き続き、結婚を希望される方と寄り添ってまいります。
妊娠・出産の環境づくり	9 家庭訪問や見守り支援において、支援者が相互理解し円滑に協力・推進するため、立場や役割の違い等について研修を行えないか。	御意見のとおり、妊娠期から子育て期までの支援に関わる支援者・関係者が支援の現状や地域特性を把握し、相互理解を図るための研修等を実施していきたいと考えています。
	10 学校、家庭、地域の協力体制、地域ぐるみの支援を具体的に実現することが重要。地域の高齢者を活用できるのではないか。	高齢者を含め地域ぐるみで子育て支援を行っていくことは重要であると考えており、高齢者の方に、地域の乳児等のいる家庭を見守る「赤ちゃん応援隊」や、経験や能力を活かした「子育ての達人」の活動等においてご活躍いただいております。また、広域で活動する中核的なNPOを「子育て支援認証団体」として認証し、これらの団体が核となり、地域で活動する小規模サークルや自治会などと連携し、地域における活動の対応力を強化していきたいと考えています。
子育ての環境づくり	11 NPO等に対して継続的な自由度の高い財政支援があれば、地域を主体とした子育ての環境づくりが進むのではないか。	NPO等子育て支援活動団体は、地域における子育ての環境づくりに重要であると考えており、NPO等の立ち上げ支援や地域での自主的な子育て支援活動を支援するとともに、人材の養成や団体のネットワークづくりを推進してまいります。
	12 人材不足企業とのマッチングの仕組みの構築について、積極的に進めていただきたい。	子育てにやさしい職場づくりを推進するため、働きやすい職場づくりに取り組む企業を集めた「子育てジョブ博」等を開催しており、職場環境づくり支援をさらに進めることでマッチングを促進してまいります。
	13 子育てに係る不安や悩み等の相談場所を見いだせない方も増えているのではないかと。当事者本人の意識改革も必要であるが、きっかけや居場所づくりといったことも重要であるため、具体的な施策展開を期待する。	子育てに係る悩みの相談や親子同士の交流の場である子育てひろば等、きょうと子育てピアサポートセンターと市町村が連携し、子育ての不安・負担の軽減を図るとともに、相談のきっかけづくりとして、乳児家庭を訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」等を実施するなど、京都府全体で子育てしやすい社会づくりを進めていきたいと考えています。
保育・教育の環境づくり	14 保育士等への処遇改善も含め、保育人材等の確保・質の向上に全力で取り組まれないか。	保育人材等の確保・質の向上については、待機児童の解消や子育て環境の充実などに向けての重要な課題であると考えており、保育士修学資金貸付等事業の実施や京都府保育人材マッチング支援センターの活用、京都市保育人材キャリアパスの導入、保育団体と協働で行う「保育の魅力発信キャンペーン」など、継続的に取り組むとともに、保育士等の処遇改善について、引き続き国へ要望してまいります。

項目	御意見の要旨	京都府の考え方
子どもが健やかに育つ環境づくり	15 障害のある子どもへの支援においては、乳幼児期は、1人の子どもに対する1人の保育士の配置が必要。小学校低学年においても、追加配置の制度を作り、充実させることが必要である。	障害の有無にかかわらず暮らしやすい社会を実現するためには、ハード・ソフト両面からの対策が必要であると考えており、「京都府障害者基本計画」及び「京都府障害福祉計画・障害児福祉計画」と連携しながら対応を検討してまいります。 保育所・認定こども園における障害のある子どもへの支援については、平成30年度に地方交付税の算定について拡充されたところであり、引き続き国の動きを注視しながら対応を検討していきたいと考えています。 また、小学校低学年の子どもへの支援については、これまでから特別支援教育に係る定数の改善を国へ要望しており、これからも引き続き改善について要望してまいります。
	16 隠れ貧困という言葉があるかはわからないが、多様化した社会で、様々な事情によって子どもが犠牲になることがあってはならないため、記載されている様々な取組が具体的に進むよう期待する。	令和元年度に改定予定の「京都府子どもの貧困対策推進計画」とも連携しながら、全ての子どもが生まれ育つ環境に左右されることなく、その将来に夢や希望を持って成長していける社会を目指して、育ちや学びをサポートするため、様々な支援策を推進してまいります。